
平成26年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成26年3月5日

質問者（質問順）

- 1 市野太郎委員（民主党）
- 2 麓理恵委員（民主党）
- 3 有村俊彦委員（結ぶ会）
- 4 古谷靖彦委員（共産党）
- 5 山本尚志委員（自民党）
- 6 輿石且子委員（自民党）
- 7 尾崎太委員（公明党）
- 8 足立ひでき委員（みんな）
- 9 山田桂一郎委員（ヨコ会）

健康福祉局

局 別 審 査

1 市 野 太 郎 委 員 (民 主 党)

1 平成26年度の健康福祉局予算案について

予算案の特徴や、特に力点を置いた点について伺いたい。

2 よこはまウォーキングポイントについて

- (1) 公募選定した事業者との共同実施期間について伺いたい。
- (2) 事業の目標値とその積算根拠について伺いたい。
- (3) 継続して取り組む参加者の数の目標設定についての考えを伺いたい。
- (4) 今後の区局と連携した取組について伺いたい。

3 元気づくりステーション事業について

- (1) 元気づくりステーション事業のこれまでの実績について伺いたい。
- (2) 介護予防事業に筋力トレーニングを導入することについての考えを伺いたい。
- (3) 栄区の元気づくりステーション事業における筋力トレーニングの実施状況と成果について伺いたい。
- (4) 26年度の元気づくりステーション事業展開の意気込みについて伺いたい。
(要望) 栄区の成功例を参考に、ぜひとも市内全域に広げていただきたい。

4 生活保護に至らないための施策について

- (1) 国の施策形成や検討過程における本市の働きかけについて伺いたい。
- (2) 中区でのモデル事業の実施状況について伺いたい。
- (3) モデル事業の実施により見えてきた課題について伺いたい。
- (4) 27年度に向けて26年度はどのような取組を進めていくか伺いたい。
- (5) 生活困窮者への自立支援の実施効果について伺いたい。

5 民生委員・児童委員について

- (1) 民生委員・児童委員のなり手不足という現状をどのように認識しているのか伺いたい。
- (2) 民生委員・児童委員への活動支援についての今後の取組について伺いたい。
(要望) 時代を反映した、横浜にふさわしい活動支援を行っていただきたい。

2 麓 理 恵 委員（民主党）

1 高齢者施設について

- (1) ユニット型特別養護老人ホームの整備を進める理由について伺いたい。
- (2) 特別養護老人ホームについて従来型とユニット型の施設数及び定員数、入所申込者の内訳について伺いたい。
- (3) 今後、どのように特別養護老人ホームの整備を進めていくのか伺いたい。
- (4) 特別養護老人ホームにおける看取り介護の実施状況、看取り加算を算定していない施設の割合と算定していない理由について伺いたい。
- (5) 特別養護老人ホームにおける介護と医療の連携について、どのような支援を行っていくのか伺いたい。
- (6) サービス付き高齢者向け住宅の整備の現状について伺いたい。
- (7) サービス付き高齢者向け住宅におけるサービス提供に関するチェック体制について伺いたい。

2 子宮頸がん予防ワクチンについて

- (1) ワクチン接種後の症状に関する相談件数と症状の内容について伺いたい。
 - (2) ワクチン接種者と未接種者全員に対する健康状況調査を行う考えについて伺いたい。
 - (3) ワクチン接種後の症状を訴えている方の追跡調査を行う考えについて伺いたい。
 - (4) ワクチン接種後の症状を訴えている方への今後の支援策について伺いたい。
 - (5) 国がワクチン接種の積極的勧奨を再開した場合の本市の対応方針について伺いたい。
 - (6) 子宮頸がん予防ワクチンの接種に関する本市のスタンスについて伺いたい。
- (要望) 大都市横浜が健康状況調査を行うと国民にとっても意味がある資料となるので、実施を検討してほしい。

3 有村俊彦委員（結ぶ会）

1 国民健康保険料について

- (1) 算定方式変更後の分析からどのような対応に至ったのか、伺いたい。
- (2) 事前の周知方法に対する課題認識とその対応策について伺いたい。
- (要望) 25年度の教訓を踏まえ、事前の周知をしっかりとやっていただくことを要望します。

2 寿町総合労働福祉会館について

- (1) 会館の再整備のスケジュールについて伺いたい。
- (2) 国・県との調整状況について伺いたい。
- (3) 関内・関外地区と、寿地区のまちづくりはどのような関係にあるのか伺いたい。
- (4) 現在の寿地区にはどのような課題があるのか伺いたい。
- (5) 寿地区の将来のまちづくりの方向性について伺いたい。
- (6) 再整備後の会館にどのような機能を持たせるのか伺いたい。
- (7) 会館の機能検討にあたり、地域の意見をどのように反映しているのか伺いたい。
- (8) 時代とともにニーズが変わってもその変化に対応できる施設を整備するべきと考えるが、どうか。
- (9) 今後のまちづくりにおける会館の位置付けをどのように考えているのか伺いたい。
- (10) 現在の会館の管理運営形態について伺いたい。
- (11) 再整備後の会館の管理運営形態はどのようにするのか伺いたい。
- (12) 今後の寿町勤労者福祉協会の役割をどのように考えているのか伺いたい。
- (要望) 寿地区にふさわしい協会の役割をしっかりと見直していただくことを要望します。
- (要望) 地域との協働で知恵を出し合いながら、寿地区の新たな拠点となるような

会館を整備することを要望します。

3 障害者スポーツ文化センター横浜ラポールについて

- (1) 横浜ラポールの指定管理料と利用料収入について、前年度との比較を含めて伺いたい。
 - (2) 障害者の方の利用状況と一般の方の利用状況について伺いたい。
 - (3) 機能別の稼働率について伺いたい。
 - (4) 利用料収入を増やすための取組について伺いたい。
 - (5) もっと一般利用者と障害者との交流が図れるような工夫が必要と考えるが、どうか。
 - (6) 障害者が市内のどこに住んでいてもスポーツや文化活動ができるようになることが必要だと考えるが、どうか。
 - (7) 障害者が市内のどこに住んでいてもスポーツや文化活動ができるようになることが必要だと考えるが、全庁的な観点から、どうか。
- (要望) 施設等のハード面の整備だけでなく、障害に対する市民理解といったソフト面の環境整備も合わせてしていただくことを要望します。

4 横浜市スポーツ医科学センターについて

- (1) 施設の特徴について伺いたい。
- (2) 民間のスポーツクラブやスポーツセンターとの相違点について伺いたい。
- (3) スポーツプログラムサービスや医学的運動療法の年間利用者数について伺いたい。
- (4) スポーツプログラムサービスを受診したことがあるか、健康福祉局長に伺いたい。
- (5) スポーツプログラムサービスを受診したことがあるか、鈴木（隆）副市長に伺いたい。
- (6) 施設の特徴を効果的に周知していく方法やその充実策について伺いたい。
- (7) スポーツプログラムサービスの利便性向上と自主事業を含めた施設利用の活性化に向けた取組について伺いたい。

- (8) 今後、この施設を有効活用し、より魅力ある施設としていくための決意を伺いたい。
- (9) オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて、この施設を全市的な観点から活用する、戦略的な考えについて伺いたい。

4 古 谷 靖 彦 委員（共産党）

1 2014年度の予算編成の考え方について

- (1) 昨今の「格差と貧困」「低所得」等の社会情勢を見ると、社会保障制度の有する所得再配分機能を更に強めることが必要だと思うが、どうか。
- (2) 高齢人口が自然増加していく中で、現在の局の予算のみを削減する方法では市民生活を守る予算とならないと思うが、どうか。
- (3) 2025年に向けて、市民の負担やサービスはどうなっていくと考えるか伺いたい。

2 小児医療費助成の本市の水準について

- (1) 本市の助成水準をどのように認識しているのか伺いたい。
- (2) 本市の水準は出遅れていると感じるが、今後どのように対応していくのか伺いたい。
- (3) 小児医療費助成の水準引き上げは、本市予算の中で優先順位が上げられていないと考えるが、どうか。

3 ヘルパー増加作戦事業の廃止について

- (1) 現状のヘルパー人数が充足しているか否かについて伺いたい。
- (2) ヘルパーが不足している状況の中で、本事業を廃止した理由について伺いたい。
- (3) ヘルパーを増やしていくための課題について伺いたい。

4 障害者ガイドヘルプ事業について

- (1) 利用実績が減っている理由について伺いたい。
- (2) 真に必要としている人をどう考えるか、ヘルパー不足にどのように対応していくのか伺いたい。
- (3) 通学支援が特別支援学校のみであり、普通校に通う障害児を対象外としてい

る。なぜ普通校に通っている障害児を支援しないのか伺いたい。

(要望) 普通校にがんばって通っている障害児のために、早急にガイドヘルプの適用を検討して欲しい。

5 寝具丸洗い・乾燥事業について

(1) 事業を廃止する理由を伺いたい。

(2) 事業の対象となる寝たきり高齢者等は増えているのか減っているのか伺いたい。

(3) 本事業が必要な方にどのように周知してきたのか伺いたい。

(4) 利用意向調査及び収入状況調査の実施の有無について伺いたい。

(5) 事業終了における代替手段について伺いたい。

(6) ヘルパーにより代替可能であると、どのように検証したのか伺いたい。

(7) 検証せずに一方的に事業を廃止するのは乱暴だと考えるが、どうか。

(要望) 健康福祉局だからこそ、厳しい生活実態にある方に丁寧に対応して欲しい。
意向調査のうえ廃止を撤回して欲しい。

6 UDタクシーの普及について

(1) UDタクシーの普及が進まない理由について伺いたい。

(2) UDタクシーの普及を進めるための改善、対応策について伺いたい。

1 地域密着型サービス等の高齢者施策について

- (1) 本市の高齢者の現状と2025年の将来予測について伺いたい。
- (2) 小規模多機能型居宅介護事業所の利用状況について伺いたい。
- (3) 可能な限り在宅での生活を継続したいという希望に応えていくための方策について伺いたい。
- (4) 整備の考え方と現在の整備状況について伺いたい。
- (5) 整備促進に向けた事業者支援の取組について伺いたい。
- (6) 今後の整備の考え方について伺いたい。

2 在宅医療連携拠点の早期整備について

- (1) 在宅医療連携拠点を実施する目的は何か伺いたい。
- (2) 医師会と協働して事業を進めているメリットは何か伺いたい。
- (3) 在宅医療に関する普及啓発の取組について伺いたい。
- (4) 在宅医療連携拠点の早期整備に向け、今後、どのように進めていくのか伺いたい。

3 横浜市医師会立看護専門学校再整備について

- (1) 市内の看護職員の需給動向について伺いたい。
 - (2) 横浜市医師会立看護専門学校再整備の事業スケジュールについて伺いたい。
 - (3) 既存校舎の活用策と国費等の導入の可能性について伺いたい。
 - (4) 移転後の菊名校・保土谷校の活用策について伺いたい。
 - (5) 統合校の特色について伺いたい。
- (要望) 横浜市医師会との連携を密にし、魅力ある学校づくりを行うとともに、卒業生の市内就職率を高め、横浜市の医療に貢献する質の高い看護師を養成することを要望します。

4 がん検診の推進について

- (1) がんを早期発見することのメリットについて伺いたい。
 - (2) 市民全体の受診率と受診率の目標について伺いたい。
 - (3) 受診率向上に向けたこれまでの取組について伺いたい。
 - (4) 26年度の受診率向上策について伺いたい。
 - (5) 女性の受診率が低迷している要因と対策について伺いたい。
 - (6) 中小企業に勤める方やその家族への受診勧奨について伺いたい。
- (要望) がん対策を推進する上で、高度医療や緩和ケアの提供体制も重要なので、特に緩和ケア病床の増床を要望します。

5 地域の見守りネットワーク構築支援事業について

- (1) モデル事業の成果と課題について伺いたい。
- (2) 26年度の取組内容について伺いたい。
- (3) 今後の方向性について伺いたい。

6 地域福祉・交流拠点整備事業について

- (1) モデル事業で見えてきた課題について伺いたい。
 - (2) モデル事業の見直し内容について伺いたい。
 - (3) 今後、区役所がより積極的に関わる必要があると考えるが、どうか。
- (要望) 今後、区民が活動の担い手となれるよう、事業を展開していただくことを要望します。

7 高齢者福祉における銭湯の活用について

- (1) 銭湯の施設数の推移と市域エリアの特徴について伺いたい。
 - (2) 経営が困難化する銭湯を確保するための支援策について伺いたい。
 - (3) 高齢者を囲む地域福祉事業の対象浴場数、予算額及び利用者数の直近3年の推移について伺いたい。
- (要望) 事業継続のためにも、是非、銭湯の負担軽減を検討していただくよう要望します。

(要望) 銭湯は地域の重要な社会資源であり、高齢者福祉サービス向上のため将来に向けた銭湯の活用を要望します。

8 健康キャラバン事業について

- (1) 健康キャラバン事業の目的について伺いたい。
- (2) 健康キャラバン事業の進め方について伺いたい。
- (3) 健康キャラバン事業を通し将来的に目指す姿について伺いたい。

9 生活保護について

- (1) 最新の生活保護受給者数及びその数がこれまでで最も多い数かどうか伺いたい。
 - (2) 本市における生活保護の動向について伺いたい。
 - (3) リーマンショック後の受給者の年齢層と世帯類型の特徴について伺いたい。
 - (4) 働ける世帯に対する支援策について伺いたい。
 - (5) 就労支援専門員の今年度の実績と26年度の配置数について伺いたい。
 - (6) 就労支援専門員を委託ではなく、直接雇用している理由について伺いたい。
 - (7) 無料職業紹介事業の具体的な実施方式と今年度の実績について伺いたい。
 - (8) 生活保護を準用している外国籍世帯数について伺いたい。
 - (9) 本市における生活保護の不正受給件数と金額について伺いたい。
 - (10) 不正受給はどのような内容が多いのか伺いたい。
 - (11) 不正受給の未然防止の取組について伺いたい。
 - (12) 当面の保護動向の見込みと対応方針について伺いたい。
 - (13) 生活困窮者支援制度の支援対象者の考え方について伺いたい。
 - (14) 生活困窮家庭の子どもに対する学習支援等の取組の今後の展開について伺いたい。
- (要望) 適正な生活保護制度の運営や、生活保護に至らないための取組を進めることによって、市民生活の安心・安全をしっかりと確立していくよう、要望します。

10 身体障害者手帳の交付について

(1) 聴覚障害の手帳所持者数と申請から交付までの手続きについて伺いたい。

(2) 聴覚障害の認定における検査方法の検討にあたっての考えについて伺いたい。

(要望) 横浜に暮らす障害者の方のためにも、これからも一緒に議論をしていくことを要望します。

6 輿石且子委員（自民党）

1 子宮頸がん予防ワクチンについて

- (1) 子宮頸がん予防ワクチンについて、市民の皆さんに安心していただくために、市としてどのような対策を講じていくのか伺いたい。
- (2) 相談窓口の担当が10月に行った熊本での講演は、どのような立場でどのような話をしたのか伺いたい。
- (3) 本来、出席すべきではなかったと考えるが、どうか。
- (4) 相談窓口が市民の立場にたった施策であるかどうか伺いたい。
- (5) 市大に対して健康福祉局からどのような要望をしていくのか伺いたい。
- (6) 情報を集約して診療体制を整えるため、いま不足していること、これからの取組について伺いたい。

2 障害者の福祉的就労への支援について

- (1) 企業等における障害者施設への発注の課題について伺いたい。
- (2) 障害者施設における工賃向上に向けた現状の取組や今後の方向性について伺いたい。
- (3) 現時点で考えている共同受注総合センターの機能について伺いたい。

3 ヨコハマ・パラトリエンナーレについて

- (1) 開催趣旨について伺いたい。
- (2) 開催概要について伺いたい。
- (3) 国際的なイベントとするための工夫について伺いたい。

4 地域密着型サービス推進事業について

- (1) 今後の認知症高齢者グループホーム整備について、見通しの方向性やニーズの把握方法をどのように考えるか伺いたい。
- (2) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の整備計画と医療的ケアが必要な方

への対応について伺いたい。

(3) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の周知方法について伺いたい。

5 高齢者の住まいに関する課題について

(1) 高齢者施設・住まいの相談センターについて、検討事業費が計上されているが、どのような内容を想定しているのか伺いたい。

(2) 様々な生活スタイルに合った高齢者の住まい確保について、どのような認識をもっているのか伺いたい。

1 認知症への取組について

- (1) 認知症の早期発見・対応に関する市民への普及啓発の取組について伺いたい。
- (2) かかりつけ医に対する研修や専門医への紹介を促進する取組について伺いたい。
- (3) 高齢者自身が認知症の自己チェックを簡便にできる方法について伺いたい。
- (4) 認知症の早期発見・対応に関する課題について伺いたい。
- (要望) 早期に気付いて適切な治療や助言を受けることが重要であることを市民に幅広く周知することを要望します。
- (要望) 早期発見のための効果的な仕組みや方法について検討し、取組を一層充実していくことを要望します。

2 高齢者施設・住まいの相談センター（仮称）について

- (1) 相談センターの設置を検討する理由について伺いたい。
- (2) 実際に相談センターで行う業務はどのようなものを想定しているのか伺いたい。
- (3) 26年度中は、具体的にどのように検討を進めていくのか伺いたい。
- (要望) 検討にあたっては、関係者と十分な協議を行い、良い仕組みを作ることを要望します。

3 在宅医療連携拠点について

- (1) 西区在宅医療連携拠点で実施している主な事業と実績について伺いたい。
- (2) 調整が難しかったケースやその対応など、具体例について伺いたい。

4 市民後見人養成・活動支援事業について

- (1) これまでの市民後見人養成・活動支援事業の実績について伺いたい。
- (2) 市民後見人による事故や事件に対する防止策やその取組について伺いたい。

(3) 本市における今後の養成と成年後見制度の普及啓発について伺いたい。

5 親なき後も安心して地域生活が送れる仕組みの構築について

(1) 後見的支援推進事業の実施意義について伺いたい。

(2) 後見的支援制度の実施内容と実施状況について伺いたい。

(3) 後見的支援制度の課題について伺いたい。

(4) 後見的支援制度の今後の実施予定について伺いたい。

(要望) 早期の全区展開を要望します。

6 風しん対策について

(1) 緊急接種事業の実績について伺いたい。

(2) 現在の風しんの流行状況について伺いたい。

(3) 市内で風しんの抗体が十分でない世代の人数はどのくらいになるのか伺いたい。

(4) 風しん対策における国の動向について伺いたい。

(5) 今後の本市の風しん対策について伺いたい。

7 働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業について

(1) 国の補助事業を活用して、働く世代の女性に対して行う事業の概要について伺いたい。

(2) クーポン券や受診勧奨通知の送付により、増加する受診者数の見込みと期待する効果について伺いたい。

(要望) がん検診の受診率向上策について、民間企業とアイデアを出し合い、インパクトあるPR策を実施することを要望します。

8 国民健康保険料について

(1) 子どもがいる世帯の保険料減免の効果について伺いたい。

(2) 子どもがいる世帯の保険料減免をどのように行うのか伺いたい。

(3) 子どもがいる世帯の保険料減免の財源の考え方について伺いたい。

(要望) 保険料の増加について、高齢者の方などに十分配慮し、誰が見てもわかりやすい内容にさせていただくことを要望します。

9 小児医療費助成について

(1) 26年度の県内の他の自治体の主な拡充予定について伺いたい。

(2) 26年度末において通院助成が小学3年生以上の自治体、また、小学6年生以上の自治体数の見込みと割合、さらに本市水準の位置について伺いたい。

(3) 所得制限なく、小学3年生まで対象年齢を拡大する場合、また、小学6年生まで拡大する場合の試算について伺いたい。

(4) さらなる制度拡充についての考え方について伺いたい。

(要望) 制度拡充について、少しでも早い時期に実現できるよう、前向きに検討することを要望します。

10 横浜市医師会立看護専門学校再整備について

(1) 横浜市医師会立看護専門学校を統合するメリットについて伺いたい。

(2) 横浜市医師会立看護専門学校に運営費補助を行う理由について伺いたい。

(3) 移転される看護専門学校の地域貢献策について伺いたい。

(要望) 地域の方々と意見交換を実施し、関係局とも連携し、移転を契機に地域全体のまちづくりをどうするかをしっかりと検討することを要望します。

11 横浜市重度外傷センター（仮称）の整備について

(1) 整備の経緯について伺いたい。

(2) 行政主導による整備方法について伺いたい。

(3) 期待する効果について伺いたい。

12 よこはまウォーキングポイントについて

(1) 健康づくりの推進のためにウォーキングを選んだ理由について伺いたい。

(2) よこはまウォーキングポイント事業を推進する上での課題は何か伺いたい。

(3) 参加者に継続してウォーキングに取り組んでいただくための仕組みについて

伺いたい。

- (4) 健康づくりに関心が低い方々にも参加していただく工夫について伺いたい。
- (要望) 不正にポイントを稼ぐことができないように、慎重に制度設計をすることを要望します。
- (要望) 将来的には、スマートフォンの活用なども検討することを要望します。

13 災害応急用井戸について

- (1) 災害応急用井戸に対する支援体制について伺いたい。
- (2) 災害応急用井戸の修繕に関する対策について伺いたい。

8 足立ひでき 委員（みんな）

1 認知症の発症予防について

（１）認知症の発症予防に効果があると言われている取組について伺いたい。

（２）横浜市が行っている認知症予防の取組について伺いたい。

（要望）本市においても、認知症を予防し、生き生きとした暮らしが続けられるよう、多様な予防の取組を進めることを要望します。

2 有料老人ホームについて

（１）介護付き有料老人ホームを公募する際の独自基準の内容について伺いたい。

（２）介護付き有料老人ホームの施設数及び入所定員について伺いたい。

（３）介護付き有料老人ホームの平均的な利用者負担について伺いたい。

（４）有料老人ホームの空室借り上げ型事業の検討の可能性はあるのか伺いたい。

（５）有料老人ホームに関する今後の情報提供をどのように行っていくのか伺いたい。

（要望）空室借り上げ型事業について、さまざまな角度から引き続き検討することを要望します。

1 アルコール健康障害対策について

(1) 適量な飲酒の促進について

ア 第2期健康横浜21では、飲酒に関してどのような行動目標をあげているか伺いたい。

イ 平成25年9月に実施した「健康に関する市民意識調査」の概要について伺いたい。

ウ 「健康に関する市民意識調査」の飲酒に関する調査項目での調査内容及び公表の時期について伺いたい。

エ 今後の適量飲酒に向けた取組について伺いたい。

(2) 特定健康診査・特定保健指導について

ア 飲酒習慣改善の必要性がある方へ、特定健康診査・特定保健指導がどの様に行われるのか伺いたい。

イ 特定健康診査へアルコール使用障害スクリーニングを導入する場合、どのような課題があるのか伺いたい。

ウ どの様に生活習慣病の予防に取り組んでいくのか伺いたい。

(3) アルコール依存症患者への対策について

ア アルコール依存症患者への対応について伺いたい。

イ アルコール依存症患者に対応する市内の医療機関の状況について伺いたい。

ウ アルコール依存症患者が通う市内の障害福祉施設等の状況について伺いたい。

(4) アルコール依存症と生活保護との関係について

ア 生活保護におけるアルコール依存症者の実態とその把握方法について伺いたい。

イ 生活保護におけるアルコール依存症者への対応について伺いたい。

(5) アルコール健康障害対策基本法

市はどの様にアルコール健康障害対策基本法に取り組んでいくのか伺いたい。

(要望) アルコール健康障害対策について、市としてしっかり取り組んでいくことを要望します。